

平成 19 年度 学会発表

1) 一番ヶ瀬智子、今井一洋

新規プロテオーム解析法 FD-LC-MS/MS 法を用いるディファレンシャルプロファイリング

第 14 回クロマトグラフィーシンポジウム (2007 年 5 月 10 日、富山)

2) 一番ヶ瀬智子、朝本紘充、今井一洋

FD-LC-MS/MS 法によるタンパク質ディファレンシャルプロファイリング

日本ヒトプロテオーム機構第 5 回大会 (2007 年 7 月 31 日、東京)

3) 朝本紘充、一番ヶ瀬智子、内倉和雄、今井一洋

FD-LC-MS/MS 法を用いたマウス海馬内の加齢に伴う変動タンパク質の探索

日本分析化学会第 56 年会 (2007 年 9 月 19 日、徳島)

4) 一番ヶ瀬智子、今井一洋、森屋恭爾、小池和彦

プロテオーム解析法 (FD-LC-MS/MS 法) によるバイオマーカー探索の試み

第 54 回日本臨床検査医学会学術集会・第 47 回日本臨床化学会年会連合大会 (2007 年 1 月 24 日、大阪)

5) 一番ヶ瀬智子、齋藤良一、高梨賢二、星川裕、今井一洋

FD-LC-MS/MS 法による乳癌細胞特異的発現タンパク質のプロテオーム解析

日本薬学会第 128 年会 (2008 年 3 月 26 日、横浜)

6) 朝本紘充、一番ヶ瀬智子、内倉和雄、今井一洋

FD-LC-MS/MS 法を用いたマウス脳幹内の加齢に伴う変動タンパク質の探索

日本薬学会第 128 年会 (2008 年 3 月 28 日、横浜)

7) 李仁愛、一番ヶ瀬智子、森屋恭爾、小池和彦、今井一洋

FD-LC-MS/MS 法によるマウス肝臓タンパク質の加齢変動解析

日本薬学会第 128 年会 (2008 年 3 月 28 日、横浜)

8) 加藤くみ子、石黒亮、有賀 純、楯 直子

Zic、Gli、及び Glis タンパク質の系統樹的關係の解析

第 80 回日本生化学会大会 (2007 年 12 月 11 日、横浜)

9)加藤くみ子、河西亜希子、石黒 亮、御子柴克彦、有賀 純、楯 直子

Zic タンパク質の構造と物性

第 45 回日本生物物理学会年会 (平成 2007 年 12 月 23 日、横浜)

10) 加藤くみ子、石黒 亮、有賀 純、楯 直子

C2H2 ジンクフィンガータンパク質 Zic の構造と Gli,及び Glis タンパク質との系統樹的關係の解析

第 45 回日本生物物理学会年会 (2007 年 12 月 23 日、横浜)

11) 加藤くみ子、内藤芽生、楯 直子

アミロイドβペプチドの凝集に及ぼす D-アスパラギン酸の影響

日本薬学会第 128 回年会 (2008 年 3 月 28 日、横浜)

12) 加藤くみ子、石黒 亮、河西亜希子、御子柴克彦、有賀 純、楯 直子

Zinc-finger タンパク質 Zic と Gli および Glis タンパク質との系統樹的關係に関する構造生物学的研究

日本薬学会第 128 回年会 (2008 年 3 月 28 日、横浜)

13) 大河原 晋、香川(田中)聡子、小濱とも子、徳永裕司、神野透人、安藤正典

TRPV3 イオンチャネルの新規スプライス変異体

第 34 回トキシコロジー学会 (2007 年 6 月 27 日、東京)

14) 神野透人、香川(田中)聡子、大河原 晋、安藤正典、徳永裕司

正常ヒト皮膚表皮角化細胞で発現する TRPV イオンチャネルを介するシグナル伝達に関する研究

フォーラム 2007 衛生薬学・環境トキシコロジー (2007 年 11 月 2 日、大阪)

15) 大河原 晋、香川 (田中) 聡子、古川容子、松本拓、小俣知世、徳永裕司、神野透人、安藤正典

エッセンシャルオイルによるヒト TRPV3 の活性化

日本薬学会第 128 年会 (2008 年 3 月 27 日、横浜)

16)安井英子、和田征夫、馬場本絵美、高村則夫

ジアゾ・ホスフィン付加体を原料とした Diels-Alder 反応の検討

日本薬学会第 128 年会 (2008 年 3 月 28 日、横浜)

17) 津元裕樹、羅紋眞、鮫島啓二郎、田口良、幸田光復

18) 津元裕樹、羅紋眞、鮫島啓二郎、田口良、幸田光復

リン酸基の置換によるリン酸化 Ser/Thr 含有ペプチドの同定と定量

第55回質量分析総合討論会 (2007年5月16日、広島)

19) 津元裕樹、田口良、幸田光復

アミノ基誘導体化試薬を利用したニトロ化ペプチドの高感度質量分析法の開発

日本薬学会第128年会 (2008年3月28日、横浜)

20) 鮫島啓二郎、葛西美紗央、大谷政博、村上安子、岡 孝巳、津元裕樹、幸田光復

エレクトロスプレーイオン化飛行時間型質量分析法によるスペルミジン、スペルミンの同時定量

日本薬学会第128年会 (2008年3月28日、横浜)

21) 田口貴章、岡本晋、伊藤崇敬、増田智代、海老塚豊、越智幸三、市瀬浩志

ベンゾイソクロマンキノン(BIQ)抗生物質の生合成研究(27)

-actVA-ORF5破壊体の生産する新規化合物の単離と構造解析-

日本放線菌学会2007年度大会 (2007年6月1日、尾道)

22) 田口貴章、岡本晋、伊藤崇敬、海老塚豊、越智幸三、市瀬浩志

ベンゾイソクロマンキノン(BIQ)抗生物質の生合成研究(28)

-actVA-ORF5破壊体の生産する新規化合物の単離・構造決定-

日本薬学会第128年会 (2008年3月26日、横浜)

23) 嶋田努、工藤敏之、赤瀬智子、油田正樹

メタボリックシンドローム予防に対する漢方薬の効果

第24回和漢医薬学会 (2007年9月8日、富山)

24) 工藤敏之、嶋田努、齋藤奈緒子、鈴木亘、五十嵐信智、伊藤清美、油田正樹、杉山

肥満型糖尿病モデル TSOD マウスにおける CYP の発現変化

第24回和漢医薬学会 (2007年9月8日、富山)

25) 嶋田 努、鏑田仁人、池口主弥、油田正樹

葛花エキスのメタボリックシンドローム諸症状に対する予防効果

第 54 回日本生薬学会 (2007 年 9 月 14 日、愛知)

26) 嶋田努、高橋晃、田淵政弘、鈴木亘、飯塚正一、永田光信、池谷幸信、竹田秀一、油田正樹

自然発症肥満・2 型糖尿病モデルマウス TSOD (Tsumura Suzuki Obese Diabetic) マウスのインスリン抵抗性と交感神経機能低下

第 28 回日本肥満学会 (2007 年 10 月 20 日、東京)

27) 工藤敏之、嶋田努、五十嵐信智、油田正樹、杉山清

肥満型糖尿病モデル TSOD マウスにおける CYP の発現変動

第 28 回日本肥満学会 (2007 年 10 月 20 日、東京)

28) 嶋田努、池谷幸信、大川久恵、木下薫、田口貴章、高橋邦夫、市瀬浩志、油田正樹

Kaempferia parviflora の薬理学的研究 (2) –メタボリックシンドロームに対する予防効果および活性成分の探索–

日本薬学会第 128 年会 (2008 年 3 月 26 日、横浜)

29) 工藤敏之、五十嵐伊織、阿部里絵子、吉澤麻里子、戸田雄大、嶋田努、鈴木亘、五十嵐信智、伊藤清美、油田正樹、杉山清

肥満型糖尿病モデル TSOD マウスの肝臓におけるトランスポーターの発現変動

日本薬学会第 128 年会 (2008 年 3 月 26 日、横浜)

30) 吉澤麻理子、工藤敏之、阿部里絵子、五十嵐伊織、嶋田努、鈴木亘、五十嵐信智、伊藤清美、油田正樹、杉山清

肥満型糖尿病モデル TSOD マウスにおける Cyp3a の薬物代謝活性

日本薬学会第 128 年会 (2008 年 3 月 28 日、横浜)

31) 阿部里絵子、工藤敏之、五十嵐伊織、吉澤麻理子、戸田雄大、嶋田努、鈴木亘、五十嵐信智、伊藤清美、油田正樹、杉山清

肥満型糖尿病モデル TSOD マウスにおける CYP の発現変動

日本薬学会第 128 年会 (2008 年 3 月 28 日、横浜)

32) 藤本真理、大塚邦子、James A Jorgenson、三原潔、河田登美枝、油田正樹、石崎純子、宮本謙一、大塚誠

ジェネリック医薬品の品質評価—溶出試験精度に与える溶出試験器の水平度の影響—

日本薬学会第 128 年会 (2008 年 3 月 28 日、横浜)

33) 赤石樹泰、加藤(酒井)くみ子、森本岳生、楯 直子、阿部和穂

フィセチンはアミロイドβ蛋白凝集阻害作用と海馬長期増強促進作用をあわせもつ

第 116 回日本薬理学会関東部会 (2007 年 6 月 2 日、東京)

34)赤石樹泰、森本岳生、柴尾真美、加藤くみ子、楯 直子、阿部和穂
アミロイドβ蛋白の線維化に対するフラボノイドの抑制および促進効果
第 81 回日本薬理学会年会 (2008 年 3 月 18 日、横浜)

35)入江かをる、氷見敏行
摘出ラット小腸のニコチンによる反応性の加齢に伴う変化
第 49 回日本平滑筋学会総会 (2007 年 7 月 5 日、奈良)

36)入江かをる、糸数七重、齋藤 洋、阿部和穂、正山征洋、氷見敏行
サフラン及び紅花抽出物の各種平滑筋及び海馬長期増強に対する作用
第 81 回日本薬理学会年会 (2008 年 3 月 17 日、横浜)

37)T. Himi¹, M. Kawaguchi
N-Acetylcysteine protects cultured hippocampal neurons from excitotoxicity enhanced by L-trans-pyrrolidine-2,4-dicarboxylic acid.
III-Neurotoxicity Society Meeting: Neurochemical Mechanism for Neurodegenerative Disorders (2007 年 3 月 24 日、Pucon、Chile)

39) T. Himi
Acetylcysteine protected cultured hippocampal neurons from excitotoxicity enhanced by L-trans-pyrrolidine-2,4-dicarboxylic acid.
WPA regional meeting (2007 年 4 月 19 日、Seoul、Korea)

40) T. Himi, M. Ikeda, M. Nishida, M. Kawaguchi
Purkinje cells express neuronal nitric oxide synthase after methylmercury administration.
International Congress of Toxicology XI (2007 年 7 月 16 日、Montreal、Canada)

41) T. Himi
N-Acetylcysteine reduced death of cultured neuronal cells by excitotoxicity enhanced by glutamate transporter inhibitor
IBRO World Congress of Neuroscience (2007 年 7 月 13 日、Melbourne、Australia)

42) T. Himi
Caspase inhibitors prevent ischemic stress-induced decrements in learning and memory in gerbil.
The 10th Multidisciplinary International Conference "Stress and Behavior"
(2007 年 5 月 17 日、St-Petersburg、Russia)

43) S. Ueno, T. Himi, M. Kawaguchi

Caspase inhibitors prevent ischemic stress-induced decrements in learning and memory in gerbil.

Society for Neuroscience 2007 (2007年11月4日、San Diego、USA)

44) T. Himi

Levetiracetam prevents attentional deficits induced by bilateral common artery occlusion in mice.

AES2007- American Epilepsy Society (2007年12月4日、Philadelphia、USA)

45) 山下直美

呼吸器学トランスレーショナルリサーチにむけた疾患モデルの意義と限界

第47回日本呼吸器学会 (2007年5月11日、東京)

46)川上真樹、松尾由紀子、吉浦健太、長瀬隆英、山下直美

エラストアーゼ誘起性肺気腫モデルマウスの経時的解析

第47回日本呼吸器学会 (2007年5月12日、東京)

47) 中野純一、犬飼真生、川口義明、大田 健、山下直美

気管支喘息の経年的変化 (都市部、公害の検討)

第57回日本農村医学会 (2007年10月11日、長岡)

48) 塚田旬、村田るみ、押川哲也、嶋村香苗、山下直美、柴本雄太、山下直秀、岡本正 人

担癌状態における抑制性免疫細胞の動態変化と放射線照射の影響

第37回日本免疫学会 (2007年11月20日、東京)

49) 押川哲也、塚田旬、嶋村香苗、山下直美、岡本正人

成熟樹状細胞の貪食能および局所樹状細胞の検討

第37回日本免疫学会 (2007年11月20日、東京)

50) 大室弘美、吉田ルシア幸子、湯田康勝、木谷誠一

Shikonin inhibits IgE-mediated histamine release of human basophils by targeting Syk.

第81回日本薬理学会年会 (2008年3月19日、横浜)

51) 大谷政博、石川雄一、小島裕美子、鮫島啓二郎、岡孝己

スベルミジン及びスベルミン合成酵素阻害剤の膵臓β細胞のインスリン分泌に及ぼす効果「ポリアミンと核酸の共進化」第6回合同シンポジウム
(2007年9月15日、東京)

52) Masahiro Ohtani, Kenneth A. Jacobson, Takami Oka

The role of P2Y1 and P2Y6 receptors in Ca²⁺ mobilization and insulin secretion in mouse pancreatic islets

47th Annual Meeting of the American Society for Cell Biology (2007年12月5日、ワシントンD.C., USA)

53) 岡孝己

膵臓α細胞の機能分化におけるアンチザイムの働き

第2回トランスグタミナーゼ&ポリアミン研究会合同学術集会(2007年12月10日、東京)

54) 村上安子、鈴木順一郎、西出依子、鮫島啓二郎、大谷政博、岡孝己

乳腺上皮細胞の増殖と分化におけるアンチザイムおよびアンチザイムインヒビターの動態と機能

第22回日本ポリアミン研究会(2008年1月25日、熊本)

55) 大谷政博、Kenneth A. Jacobson、岡孝己

マウス膵臓由来の培養β細胞におけるイオンチャネル型プリン作動性(P2X)レセプターの発現と細胞内Ca²⁺濃度及び細胞増殖に及ぼす効果

日本薬学会第128年会(2008年3月27日、横浜)

56) 樋口ゆり子、岩井美栄子、川上茂、山下富義、三原潔、谷川原祐介、橋田充

抗原提示細胞指向型キャリアを用いたNFκBデコイ送達に基づくラット心移植急性拒絶におけるサイトカイン産生抑制

日本薬剤学会第22年会(2007年5月23日、埼玉)

57) Sanzen, Y., Ohta, Y., Kawada, T., Sato, H., Yoshida, Y., Nagasaka, Y., Yamamoto, T., Nakazawa, M.

Correlation heart functions and Protein levels in the rat chronic heart failure.

19th World Congress of the ISHR (2007年6月24日、Bologna, Italy)

58) Toyo-oka, T., Tezuka, A., Kawada, T., Nakazawa, M., Masui, F., Konno, S., Nitta, S.

Long-lasting plasticity of slow-twitch skeletal myoblast for selective engraftment and functional improvement of failing heart.

13th World Congress on Heart Disease (2007年7月30日、Vancouver, Canada)

59) 仲澤幹雄、伊藤美波、今井貴子、柘植真裕美、三膳良樹、佐藤博、河田登美枝

イソフルラン麻酔下でのラットとマウスの心機能の差について

第58回日本薬理学会北部会(2007年9月28日、札幌)

60) 仲澤幹雄、河田登美枝、三膳良樹、油田正樹、嶋田努、鈴木亘、飯塚生一、佐藤博

2型糖尿病モデルマウス(TSOD)の週齢による心機能の変化

第81回日本薬理学会年会(2008年3月18日、横浜)

61) 三膳良樹、太田好美、河田登美枝、佐藤博、吉田豊、長坂佳美、山本格、仲澤幹雄

自己免疫性心不全モデルラットにおけるHSP90の変化

第81回日本薬理学会年会(2008年3月19日、横浜)

62) 藤本麻理、大塚邦子、James A. Jorgenson、三原潔、河田登美枝、油田正樹、石崎純子、宮本謙一、大塚誠

ジェネリック医薬品の品質評価－溶出試験精度に与える溶出試験器の水平度の影響－

日本薬学会第128年会(2008年3月28日、横浜)

63) Yuasa, K., Hijikata, T.

Gene Therapy of Duchenne Muscular Dystrophy by Spliceosome-Mediated RNA Trans-Splicing.

The 13th Annual Meeting of the Japan Society of Gene Therapy(2007年6月30日、愛知)

64) 湯浅勝敏、中村昭則、武田伸一、土方貴雄

筋ジストロフィー犬の骨格筋における筋線維タイプの解析

日本薬学会第128年会(2008年3月28日、横浜)

65) 神吉けい太、垣本彩、河村剛至、渡辺恵史

グリセリンによるIFN- γ 誘導マウス肝細胞死の抑制

日本薬学会第128年会(2008年3月27日、横浜)

66) 徳留嘉寛、大塚 誠、伊藤敦夫、Racquel Z. LeGeros

規必須微量金属含有リン酸カルシウムナノ粒子を用いた骨粗鬆症動物の長期治療効果～動物種差の影響～

第22回日本薬剤学会(2007年5月22日、大宮)

67) 須田将史、角田洋幸、長谷川健、岡田哲男、大塚誠、高山幸三、高橋大輔、和泉剛

UCST型熱応答性を有する直鎖ポリエチレンイミンの水溶液物性

日本高分子学会第56回年次大会(2007年5月29日、京都)

68)角田洋幸、長谷川健、岡田哲男、須田将史、高山幸三、大塚誠、高橋大輔、和泉剛

直鎖ポリエチレンイミンの上限臨界溶解温度型水溶機構の赤外分光法による解析

日本高分子学会第 56 回年次大会 (2007 年 5 月 29 日、京都)

69)須田将史、徳留嘉寛、大塚誠、高山幸三

粉末 X 線ケモメトリックス法による結晶多形含有量の定量的解析

第 22 回日本薬剤学会 (2007 年 5 月 22 日、大宮)

70) Makoto Otsuka, Hideaki Tanabe

Stability Test for Amorphous Materials in Humidity Controlled 96 Well Plates by Near-Infrared Spectroscopy.

The 13th International Conference on Near Infrared Spectroscopy (Umea-Vasa, Sweden, 2007 年 6 月 18 日)

71) 須田将史、徳留嘉寛、長谷川 健、大塚 誠、高山幸三

赤外分光ケモメトリックス法による結晶性医薬品における多形転移の熱動力学的解析

日本分析化学会第 56 年会 (2007 年 9 月 19 日、徳島市)

72) Masafumi Suda, Yoshihiro Tokudome, Takeshi Hasegawa, Makoto Otsuka, Kozo Takayama

Thermal kinetics analysis of polymorphic transition of crystalline medicines by infrared spectroscopic and chemometric techniques.

2007 Annual Meeting and Exposition (2007 年 11 月 13 日、San Diego、USA)

73)Makoto Otsuka, Yuya Fukui, Kuniko Otsuka, Yukihiro Ozaki

Comparative Evaluation of Bioactivity Change of Crystalline Trypsin during Drying Process by Using Fourier-Transformed Infrared Spectra Using Chemoinformetrics and Two Dimensional Correlation Spectroscopy.

2007 Annual Meeting and Exposition (2007 年 11 月 13 日、San Diego、USA)

74)徳留嘉寛、大塚 誠、久保寺 舞、伊藤敦夫、RZ LeGeros

必須微量金属含有新規リン酸カルシウムナノ粒子を用いた骨形成促進効果～マテリアルの物性評価～

第 29 回日本バイオマテリアル学会 (2007 年 11 月 26 日、大阪)

75)濱田英之、徳留嘉寛、大島広行、大塚誠

骨細胞活性依存性薬物放出制御セメントからの骨形成・細胞活性因子放出

第 29 回日本バイオマテリアル学会 (2007 年 11 月 26 日、大阪)

76)大塚 誠、福井裕也

近赤外を用いた二層錠の結晶多形含有量の評価

第 23 回近赤外フォーラム (2007 年 11 月 8 日、つくば)

77)阿波君枝、奥村剛宏、新澤英之、大塚誠、尾崎幸洋

NIR イメージングを用いた製剤の非破壊分析

第 23 回近赤外フォーラム (2007 年 11 月 8 日、つくば)

78)須田将史、徳留嘉寛、大塚 誠、高山幸三

近赤外分光ケモメトリックス法によるメフェナム酸含有錠剤の定量的解析～擬似透過法による錠剤中製剤の定量法～

日本薬学会第 128 年会 (2008 年 3 月 28 日、横浜市)

79) 大塚 誠、須田将史、柴田治郎、西澤潤一

テラヘルツ・ケモメトリックス分光法によるメフェナム酸結晶多形定量評価

日本薬学会第 128 年会 (2008 年 3 月 30 日、横浜)

80)内海俊一、小幡誉子、須田将史、徳留嘉寛、大塚 誠、高山幸三

I-Menthol 適用による角層細胞間脂質の赤外吸収スペクトル変化

日本薬学会第 128 年会 (2008 年 3 月 30 日、横浜)

81)大塚 誠、徳留嘉寛、大島広行、寒河江登志朗、佐藤 勇

X 線 CT を用いた特殊錠剤の非侵襲的構造変化の速度論的解析とその安定性

日本大学理工学部量子化学研究所電子線利用施設・可変波長高輝度単色光源の高度利用に関する研究シンポジウム (2008 年 3 月 15 日、習志野)